

令和3年度第4回吹田市文化振興審議会 議事要旨

1 開催日時 令和3年11月19日(金)

開会 午後7時00分 閉会 午後7時15分

2 開催場所 吹田市役所高層棟4階特別会議室

3 案 件 第2次吹田市文化振興基本計画の策定について(答申)

4 出席委員

藤野 一夫 会長 芸術文化観光専門職大学 芸術文化・観光学部教授

藤原 学 委員 吹田市文化団体協議会 会長 吹田郷土史研究会 会長

古矢 直樹 委員 吹田市文化振興事業団副理事長

米田 文孝 委員 関西大学 文学部教授

串崎 幸代 委員 千里金蘭大学 生活科学部准教授

福留 和彦 委員 大和大学 政治経済学部教授

辻本 武彦 委員 市民(公募委員選考委員会による審査)

天野 正夫 委員 市民(公募委員選考委員会による審査)

5 公開・非公開の別 公開・非公開

6 傍聴者 なし

7 会議進行

会長 皆さまの御協力に大変感謝しており、根源的な議論をすることができたと思っています。時間が限られていたため、会長預かりになっている件については、前回審議会から一週間で事務局と調整しブラッシュアップをした。

【検討案件について】

- 会長 前回議題となった文化振興審議会の位置付けと進捗管理について整理を行った。P5の「文化の主体と市の役割」の、3行目以降に記したように、関係する部署との連携と横断的な施策の実施を行い、計画策定から3年目に文化振興審議会で政策の進捗確認と必要に応じた施策の検討を行い、6年目にも政策の進捗確認と次期計画に向けた方向性を検討する旨を盛り込んだ。また、「デジタル文化」の内容について、P15の「基本的な考え方」の、「情報通信技術の進展と文化・芸術」を修正して、以前よりも一歩踏み込んだ形で記載した。このことについて何か意見等はあるか。
- A委員 非常に短いセンテンスの中に要求された内容がしっかり盛り込まれていると思う。

【全体を通して】

- 会長 一番大切な「基本的な考え方」の中で、市内の文化・芸術の振興だけでなく、次の世代や自然環境との共生についても考え、「世界市民」、「地球市民」の立場として幅広いものの見方で進めていかなければならないことを記載した。また、「文化的民主主義」の考え方についても記載し、日本ではまだなじみのない言葉のため注釈を加えた。吹田市は大都市でもさらに先端的な都市であるため、10年後を見据えて、少し高めの目標を設定した。他の自治体を見ると、吹田はここまで書いたのかと感じると思うが、一つの見本を示せたと思う。
- それでは、この内容で答申してよいか。

- 委員一同 異議なし

【答申】

【部長挨拶】

- 部長 第2次吹田市文化振興基本計画の答申をいただき、大変感謝している。

大変熱心な御議論を短期集中で行っていただき、概ねスケジュールどおりに計画を策定できた。今後10年間を見据えた計画の中には、「社会包摂」、「文化的民主主義」等の表現が記され、次の世代の規範となるにふさわしいものとなった。答申に基づき、新しい吹田の文化・芸術を発展させていく。

【今後の予定について】

事務局 12月中旬以降にパブリックコメントを実施し、令和4年4月から策定した計画に基づき事業を展開していく。また、予定ではあるが、来年度には計画の周知をかねてシンポジウム等を予定している。

【閉会】